

平成 14 年度環境科学センター研究推進委員会課題評価結果

2 重点経常研究

(1) 「最終処分場の廃止に係る安定化指標に関する研究」

[総合評価とコメント]

処分場の後の利用等実施の段階を考えると非常に難しい課題かと思いますが、多くのファクター(影響)を考えて計画を進めてください。

測定項目については、今後もなお検討の余地があると思う。

必要であるが、用いようとする手法やアプローチに新規性、独創性が弱い。

埋立廃棄物との関連にも重点を置いて欲しい。

行おうとしている研究の独自性として何を主張するのかを明確にされたい。現在の記載内容は、一般的に指摘されていることと同じレベルであるように見える。

目的が明確で研究計画としては良いと思う。

緊急的な課題である。普遍的なデータとして利用できるような整理を望みたい。(土地利用のリスク評価も念頭に置くことができればなお良い。)

緊急に解決しなくてはならない課題のため、研究の継続と緊急性が必要と考える。

(数値的評価)

評価者 6 名

< 評価の内容 >	< 評価項目 >	< ランク >				
課題設定の妥当性	背景と必要性	1 (6 人)	2 (0 人)	3(0 人)	4(0 人)	5 (0 人)
	優先性	1 (5 人)	2 (1 人)	3(0 人)	4(0 人)	5 (0 人)
計画の立案と実施法	研究内容	1 (1 人)	2 (4 人)	3(1 人)	4(0 人)	5 (0 人)
	計画の妥当性	1 (1 人)	2 (5 人)	3(0 人)	4(0 人)	5 (0 人)

凡例 1:よい 2:概ねよい 3: 問題点あり 4: 全面的見直し必要 5: わからない